



さいたま 来ぶらり通信

さいたま市図書館報

2014年3月15日発行

Contents

わがまちSai発見……………1,2

本棚ぶらり 大人も楽しめる絵本の世界……………3

図書館評価を実施しています 第14回現代短歌新人賞受賞作が決まりました……………4

わがまち

Sai 発見

はっけん



あの若田さんが名誉館長!

青少年宇宙科学館

をめぐる

宇宙飛行士の若田光一わかた こういちさんは現在、国際宇宙ステーションに長期滞在しており、3月9日から日本人初の国際宇宙ステーションのコマンダー（船長）となっています。若田さんは今号でご紹介する「さいたま市青少年宇宙科学館」の名誉館長でもあります。

さいたま市青少年宇宙科学館では「見て、ふれて、チャレンジできる科学館」をテーマに、様々なイベントを開催しています。



「若田宇宙飛行士展」開催中

1階にある「特別展示室」では「若田宇宙飛行士展」を開催しています。

目玉は日本初の展示となる「ソユーズ宇宙船搭乗体験装置」。若田さんが国際宇宙ステーションに向かうときに搭乗したソユーズの内部を再現したもので、装置の中に座って搭乗した気分を味わうことができます。この装置は「若田宇宙飛行士展」が終了した後も展示される予定です。



ハイブリッド・プラネタリウム

青少年宇宙科学館には「ハイブリッド・プラネタリウム」があります。直径23メートルのドーム天井に、約1000万個の星が投影できる光学式投影機と、迫力あるCG映像を映し出すデジタル映像システムを融合したものです。一般向けのプログラムのうち、「今夜の星空解説」と「星宙散歩ほしぞらさんぽ」では、解説員による臨場感たっぷりの解説を聞くことができます。特に「今夜の星空解説」では、その日の夜にさいたま市上空で見える星空を解説していて、星空を身近に感じることができます。



見てふれて楽しめる宇宙と科学の世界

宇宙のことだけではなく、実際に見て体験できる科学についての展示も数多くあります。

1階にある「ふしぎ広場」では音や光、目の錯覚などによって、ふしぎなことが起こる装置がたくさんあります。例えば、「昇る水面」は、水を利用して遠心力の働きを目に見えるようにしたものです。

2階は「ひまわり広場」と「宇宙広場」です。

昆虫や鉱物の標本、ミニ气象台や顕微鏡などがある「ひまわり広場」は、じっくり〈見る〉ことの楽しみを実感できます。土曜日・日曜日・祝日にはサイエンスショーが開催され、人気を博しています。また、特別サイエンスショーには「科学戦隊 さいレンジャー」も登場して、楽しい実験を見ることができます。



大人気の「科学戦隊 さいレンジャー」

「宇宙広場」は透明な球面上に星座などを投影した天球儀のほか、天体望遠鏡のしくみなどが展示されていて、宇宙への興味がかきたてられます。

◇ ◇ ◇

このほか、申し込みの必要な各種科学教室も開催されています。詳しい内容は「市報さいたま」または青少年宇宙科学館ホームページをご覧ください。

特別企画!
さいレンジャーに聞く
おすすめの本

青少年宇宙科学館で科学の面白さをわかりやすく教えてくれる「科学戦隊 さいレンジャー」。今回はそんな頭脳派のみなさんにおすすめの本を聞いてみました。

レッド
『思惟する天文学 ー宇宙の公案を解くー』
佐藤勝彦^{さとうかつひこ}著 新日本出版社 2013年
おすすめポイント

「宇宙とは何か？」と問われると、ものすごく難しく考えるかもしれません。現在、天文学者たちは様々な視点で研究を進めています。未知の世界に挑もうとする天文学者たちの情熱を感じられる1冊です。
ぜひご一読を!

ブルー
『進路を自分で決められる子どもに育てよう
宇宙飛行士若田光一・成長の記録』
若田タカヨ^{わかた たかよ}著 講談社 2011年
おすすめポイント

若田宇宙飛行士を育てたお母様の本です。どの子ども、「その子だけの芽」を持っていると言います。お母様は、どのようにして「若田宇宙飛行士の芽」を見つけ、育み、伸ばしていったのでしょうか。

シルバー
『おはなし天文学』1～4
斉田博^{さいとうひろし}著 地人書館 2000年
おすすめポイント

星に関しての興味深いエピソードと、それに関わってきた人々の熱い人間ドラマが詰まった本。天王星や海王星がどのようにして見つかったかなど、教科書には載っていないおもしろい話が盛りだくさん。星空を見上げるのが楽しくなる一冊です。

イエロー
『宇宙で過ごした137日 僕の「きぼう」滞在記』
若田光一^{わかた ひろかず}著 朝日新聞出版 2009年
おすすめポイント

「夢」「探究心」「思いやり」の想いを胸に宇宙でのミッションを成功させた若田宇宙飛行士から、子どもたちに向けたメッセージがたくさん詰まっている一冊です。

グリーン
『人類が生まれるための12の偶然』
岩波ジュニア新書
眞淳平^{まこと じゅんぺい}著 岩波書店 2009年
おすすめポイント

人類はどのようにして誕生したのでしょうか。それには宇宙や地球の誕生、生命の発生、人類の進化と続く一連の過程のなかで起きた「12の偶然」が関わってきます。その「偶然」のうちどれか一つでも欠けていたら、私たちは存在していないかもしれません。地球は宇宙で生命が存在する唯一の星であると思えてきます。この1冊で、宇宙の成り立ちや生物の進化について詳しく知ることができます。

ダーク
『主役はダーク 宇宙究極の謎に迫る』
須藤靖^{すとう やすし}著 毎日新聞社 2013年
おすすめポイント

「宇宙には端っこがあるのだろうか?」「宇宙の外はどうなっているのだろうか?」「『ダーク・マター』や『ダーク・エネルギー』ってなんだろう?」「宇宙人との付き合い方って?」宇宙への疑問を夢やユーモアを交えて解説します。

フチイエロー
『ギリシア神話 オリンポスの神々』
講談社青い鳥文庫
遠藤寛子^{えんどうひろこ}文 講談社 2011年
おすすめポイント

ギリシア神話に興味があるけれど、「難しそうだなあ」と思っている方におすすめです。神話に出てくる神々の紹介もあり、とてもわかりやすくなっています。親子で楽しめる1冊です。

◇ ◇ ◇
今年、若田さんが地球に帰還し、小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げが予定されています。宇宙への関心が高まる今、楽しみながら学ぶことができる青少年宇宙科学館に足を運び、宇宙をより身近に感じてみてはいかがでしょうか。さいレンジャーが皆さんのお越しをお待ちしています!

さいたま市青少年宇宙科学館
〒330-0051 さいたま市浦和区駒場2-3-45
TEL: 048-881-1515 FAX: 048-882-9702
入館: 無料
入場料(プラネタリウム): 大人500円(4月1日より510円)、小人200円(4歳~高校生)
ホームページ <http://www.kagakukan.urawa.saitama.jp/main.html>



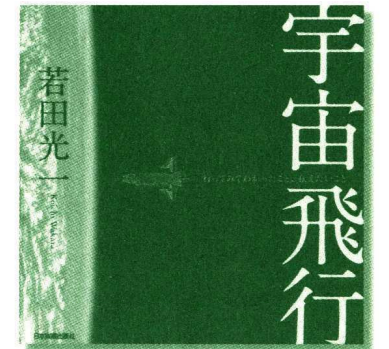
**本棚
ぶらり**

『宇宙飛行 行ってみてわかったこと、
伝えたかったこと』

若田光一^{わかた ひろかず}著 日本実業出版社 2011年

この本のはじめで、若田さんは、『宇宙に出て感じるのは、「地球は美しい」という、言葉にすれば非常に月並みですが、言葉では言い表せないほどの感動を与えてくれる「圧倒的な地球の存在感」と「広大な宇宙に対する畏怖の念」です』と語っています。

若田さんの宇宙への思いは、これまでの宇宙飛行時に撮影した写真とともに、宇宙に関する様々な質問に対する答えとして綴られています。「宇宙でのストレス解消法は?」という質問への回答の中で、



お子さんが折った折り紙の手裏剣を国際宇宙ステーションで飛ばしてみせたというエピソードがあり、若田さんの人となりを感じることができます。

各章の終わりには、これまで若田さんを支えてくれたいくつかの先人の言葉も掲載してあります。表紙を開くと、「夢・探究心・思いやり」と若田さんがサインしたボールが宇宙空間に浮かんでいる写真が目に入り込みます。この言葉も、誰かの心の支えになるのではないのでしょうか。

大人も楽しめる
絵本の世界 第6回



「絵本は大人が子どもに読んであげてを前提に創られている」とよく言われます。でも「大人になってからの方が楽しめるのでは?」と思えるような本も少なくありません。

例えば、『おおきな木』(シエル・シルヴァスティン作(篠崎書林))は、幼い子に無私の施しをする木が主人公の切ない話です。子どもたちは夢中になって聞いてくれますが、大人が読むことによって新たな発見があり、より一層楽しむことができます。

他にも、『ぶたばあちゃん』(マーガレット・ワイ

ルド文 ロン・ブルックス絵(あすなろ書房))、『リリ』(はらだゆうこ作・絵(BL出版))のような身近な存在の死を描いた作品や、いじめの問題を取り上げた『あの子』(ひぐちともこ作・絵(解放出版社))といった重いテーマを扱った絵本もあります。

やはり絵本にもTPOはあるのです。時と場合に合わせて選ぶとさらなる楽しみが広がります。大人のたしなみとして、頭の片隅に入れておいてはいかがでしょうか。

図書館評価を実施しています

★さいたま市図書館評価

さいたま市図書館では、「地域の知の拠点」として図書館サービスの充実を図るため、年度ごとにサービス内容や運営状況について目標を設定し、達成状況の点検及び評価を行っています。

★平成24年度事業の評価

平成24年度の事業について点検・評価を行った結果、「達成」できたものと「ほぼ達成」できたものを合わせると、総合評価・指標別評価ともに70%を超え、目標に対しておおむね成果を上げていると言える状況になりました。

これらをまとめた「平成25年度さいたま市図書館

評価 報告書（平成24年度事業対象）」は、図書館のホームページでご覧いただけます。

★平成25年度事業の評価

平成25年度は、平成25年3月に制定した「さいたま市図書館ビジョン」に基づき、取り組む事業について16の「サービス目標」に対応した49の指標を設定しています。これらの指標に対する達成状況については、平成26年4月から点検・評価を行っていきます。

★評価の公表

事業の取組状況の報告や図書館評価の結果を、ホームページなどで積極的にお知らせしてまいります。

第14回現代短歌新人賞受賞作が 決まりました

さいたま市が主催する「現代短歌新人賞」は今年で14回目を数えます。平成25年12月1日（日）の選考会で選ばれたのは、さいたま市在住の山崎聡子さんの歌集『手のひらの花火』（短歌研究社 2013年）です。

「山崎聡子歌集『手のひらの花火』は、少女期から思春期をへて青春期まで、次第に社会性を獲得して



きた女性の感情が、いきいきした学生時代以降アメリカ留学の外国人としての疎外感など、鋭く、多面的にうたわれ、^{ほうじょう}豊饒な世界を展開した歌集である。」（選考委員会講評、さいたま市ホームページより）

作品や選考過程についての記事が、雑誌『ミセス』（文化出版局）2014年3月号に掲載されています。図書館でも所蔵していますので、ぜひご覧ください。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> （下のQRコードを読み込んでください）

北浦和図書館 832-2321	桜木図書館 649-5871	春野図書館 687-8301	与野南図書館 855-3735
南浦和図書館 862-8568	大宮西部図書館 664-4946	大宮東図書館 688-1434	岩槻図書館 757-2523
東浦和図書館 875-9977	三橋分館 625-4319	七里図書館 682-3248	岩槻駅東口図書館 758-3200
桜図書館 858-9090	北図書館 669-6111	片柳図書館 682-1222	岩槻東部図書館 756-6665
大久保東分館 853-7100	宮原図書館 662-5401	与野図書館 853-7816	武蔵浦和図書館 844-7210
大宮図書館 643-3701	馬宮図書館 625-8831	西分館 854-8636	

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★

宇宙食には、小倉ようかんと栗ようかんがあるそうです。

次回発行予定：2014年8月15日（年3回発行）

